

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

137

建築課

補助金の名称 (規則・要綱名)	住宅浸水対策改修費等補助金			
	西尾市住宅浸水対策改修費等補助金交付要綱			
補助事業の概要 及び交付先	既設住宅の大雨等による浸水被害を防止するため、住宅の改修等工事を行う者に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、災害に強いまちづくりの推進を図り、市民の財産を保護する事を目的とする。			
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算	
	0円	6,000,000円	3,000,000円	
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類	
	市単独補助金	継続的補助金	施設等建設・維持補助金	
交付期間	開始年度	H26	終了年度（予定）	H30
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か			適切
	イ 市が補助すべきものか			補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か			明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか			適切
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か			*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか			*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金	
	0円	0円	0円	
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか			*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか			*****
	※ 検討していない理由	*****		
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か			
	※ 補助対象経費の額			
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****			
3 今後の方向性				
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか			設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

137

建築課

補助金の名称 (規則・要綱名)	住宅浸水対策改修費等補助金	
	西尾市住宅浸水対策改修費等補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	2 社会基盤 利便性と快適性を高める基盤づくり
	項による分類	2 災害対策
	施策内容による分類	3 水害・土砂災害対策の推進
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	過去に大雨等による浸水被害を受けた土地周辺の方々を網羅する。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	対象となる住宅に対して、補助事業のDMを個別に送付するなどして案内を行った結果、浸水対策工事を希望される方がみえなくなった。	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	目標達成
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	過去に大雨等による浸水被害を受けた土地周辺の方	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	浸水対策工事を行う方	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	既設住宅の大雨等による浸水被害を防止するための浸水対策工事を進めることで、市民の生命と財産を守る。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	補助対象経費である浸水対策に必要となる工事費について、図面及び見積もり等による計画書と、写真及び領収書等による実績報告書の提出を求め、審査している。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成26年04月01日
	改定年月日(最終)	

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

137

建築課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	0円	3,000,000円	3,000,000円	
	補助件数	0件	1件	1件	
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源		3,000,000円	3,000,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
C	C	D	C	C	D	C

評価結果	補助金等検討委員会	補助金検討委員会からのコメント
	見直し	災害対策ということであれば、一旦廃止をして別の支援方法を検討するなど、一から制度を見直していただき、他の手段を含めた市民の生命財産を守る方法を検討していただきたい。

補助金等検討委員会の主な意見

災害対策という観点で、災害が起きた後に補助するというものなのはいかがなものか。

この補助金でこれから起こる災害に対応できるか疑問がある。起きた災害で考えるのではなく今後を見据えた制度を考える必要があると思う。

災害が起きた際の対応は、補正予算で行っていくもの。この補助金を恒常的に残しておく必要があるかは疑問がある。

市の業務は市民の生命財産を守ること。こういった事業は市だけがやれることなので効率的に努力して欲しいと思う。

個人に対する補助金なので、必要最小限であるべきだと思う。5年間に2件だけという実績から見ても必要とは考えにくい。